

## エンジョイ! 学園ライフ

## 活発な部活動、全国で活躍

study  
Lesson  
classmate

建学の精神「文武両道」と「師弟同行」は、部活動でも遺憾なく發揮されています。黎明高校では、運動系の部活動を大学並みの体育会として組織し、体育会創立10周年で大きな成果を上げています。平成15年にインターハイで優勝した実績を持つアーチェリー部は、平成26年のインターハイ男子団体で2度目の全国制覇を果たしました。

陸上競技部も関東大会で行われたデジアユース大会では女子走り幅伸びて優勝しました。

吹奏楽部は3年連続で



インターハイで2度目の全国制覇を成し遂げたアーチェリー部

## 校長の話

西村清校長 2017年には創立95周年を迎え、伝統校としてさらに大きく躍進を遂げます。2020年には東京オリンピックが開催され、また大学入試制度も大きく変わる年であり、本校は着々と準備を重ねています。また、生徒たちには「探す」「決める」「がんばる」をキーワードに大学などへの進路選択の道しるべとしています。

私立高校は自由で多様性があり、中でも黎明高校は世界で一つしかないオンラインの地域密着、地域に貢献する高等学校であると自負しています。

黎明高校は、4回目の被災地訪問となる修学旅行での「傾聴ボランティア」などを通して防災教育に力を入れ、安心・安全・快適な学校生活を提供します。



私は、生徒会長として生徒会活動の運営、地域貢献型の本校の特色を活かしたボランティア活動への参加、そして、学校自治に努めています。部活動は、軽音楽部にも

## 生徒会長

杉田 律

## 挑戦で新たな自分を発見

所属しています。自分が興味を持ったことに前向きに挑戦していくことで、新たな自分を発見することができます。学習面では、進路決定に向けたカリキュラムや環境が整っており、課外活動の多さに学習指導してくださる先生方のお陰で、文武両道が実践できています。また、受験を控えている現在、進路実現への可能性を広げる同時に将来の選択の幅が広がり、受験へのモチベーションを高く維持しながら学習に励んでいく環境に感謝しています。

## 私たちの高等学校

## 千葉黎明高等学校

◇所在地 八街市八街625  
校長 西村 清



## 校訓に文武両道、師弟同行

ユネスコスクール加盟校

2014千葉教育大賞特別賞受賞



北総台地に広がるキャンパスは敷地面積約8万平方メートルで、県内の高校では最大級の広さです。この広大なキャンパスで、生徒が創立直後に編成し指導されたプラスバンドは、日本で最初のスクールバンドと言われ、今日まで受け継がれています。



学園祭で生徒会マスコットキャラクター「レイジー」お披露目

## 千葉黎明高等学校

## 交通

JR総武本線八街駅南口から徒歩約10分。

域の祭りに参加したりする活動などが評価され、平成25年、ユネスコスクールへの加盟が承認されました。また平成26年には、県内の優れた教育の試みを表彰する「2014千葉教育大賞」が選ばれています。さうに、教員の質向上を図るために、公立高校との「公私組み」として始まった八街市内の中学校との「交流人事」研修を行っています。また、今年度から天野元校長が開講している千葉大学での講義を生徒が学生と一緒に受講するなど、高大接続を視野に入れた授業づくりの実践にも取り組んでいます。